

「瑞江第二中学校のいじめ防止の取組」について

法による「いじめ」の定義について

いじめは、いじめ防止対策推進法によって「当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と規定されます。

社会通念上のいわゆる「いじめ」だけでなく、従来では「けんか」や「お互い様」と捉えられていたような人間関係によるトラブルも含めて「いじめ」と捉え、早期に対応することが重要です。

すべての児童・生徒が安全・安心な学校生活を送るために、今の「いじめ」の定義があります。

令和6年度の本校の「いじめの認知件数」について

(令和6年11月末現在)

いじめは「覗き込まないと見えません」。軽微なものも含めて積極的に認知することによって、いじめの重篤化を防ぎます。

今年度の本校のいじめの「**認知件数**」は、「増加傾向です」。本校では、増加傾向の要因として「生活記録」を毎日生徒に提出させ細かな様子の変化を察知したり、年間3回のいじめアンケートを実施し生徒からの訴えを正確に把握し早期対応を行う等の「些細な変化も見逃さない」という本校の取組や、「一人で抱え込まずに他者に相談をしよう」と日々生徒に呼びかけを行っていることの成果と捉えております。本校教員で十分に聞き取りを行い、「いじめは絶対にしてはならない」と生徒に指導してまいります。引き続き「いじめ見逃しゼロ」を目指し、いじめの早期発見・早期対応を行ってまいります。

本校の「いじめ防止の取組」について

本校では、学校いじめ防止基本方針に則り、組織的にいじめに対応しています。

お子様のことで何か心配や不安を感じたら、ぜひ学級担任に相談してください。学校いじめ対策委員会にて組織的に対応していきます。